

# 富士フイルム(株)富士宮工場 サステナビリティレポート 2017

## ご挨拶

富士フイルム富士宮工場は世界文化遺産富士山の南西山麓に位置し、清澄な空気、豊富な湧水の恩恵を受けて操業しております。1963年の創立以来、地域やステークホルダーの方々にはご理解とご支援を賜り、深く感謝しております。

私たちは、生産活動に伴う環境への影響を正しく認識し、環境を大切に作る風土を先人から引継ぎ、教育・伝承するとともに、情報を積極的に公開し、環境保全に日々努力して参りました。

今後も、世の中のさまざまな社会課題解決のため新たな価値創出に取り組む一方、廃棄物削減と適正処理によるゼロエミッションの継続、使用エネルギーの一層の削減、さらに化学物質の適正管理などの環境への配慮に全力で取り組みます。また、地域の皆さまとの意見交換の場である環境対話集会の開催などを通じて、積極的なコミュニケーションに努め、引き続き地域の皆さまとの共生を図って参ります。

2017年10月  
富士フイルム(株)  
富士宮工場長

藤倉 大介



FUJIFILM  
Value from Innovation

### 2017年度 富士宮事業場 基本方針

**自ら考え、  
全員で成果を産み出そう！**

－ 正しく判断し、迅速に行動し、  
変化を起こす－

安全：危険を捉え、危険を指摘し、自分と仲間を守ろう！  
～離れた危険源ゼロを目指して～  
環境：「当たり前」をレベルアップさせよう！  
品質：自工程保証をレベルアップさせ、  
次工程・顧客の要求を満たす一定品質を追求しよう！



\*このレポートは、富士フイルム(株)富士宮工場(関連会社含む)の環境・安全及び地域とのコミュニケーションについて、2016年度の活動や実績をまとめたものです。  
対象期間：2016年4月～2017年3月

## 富士宮工場の概要

|            |  |
|------------|--|
| 創立         | 1963年10月16日  |
| 所在地        | 〒418-8666 静岡県富士宮市大中里200番地  |
| 主要生産品目     | 医療及び工業用 X-レイフィルム、プレスケール、写真印画紙用支持体、インクジェットペーパー、太陽電池用保護フィルム、各種機能性フィルム  |
| マネジメントシステム | ISO9001、ISO14001、OHSAS18001 認証取得<br>統合プログラム プレミアム・ステージ(上位認証)   |
| 2016年度概況   | 生産金額 508 億円<br>従業員数 1,127 人(関連会社含む、2017年3月末時点)<br>工場敷地面積 358 千 m <sup>2</sup> 、工場建物面積 132 千 m <sup>2</sup> |

## 環境年表

|       |   |
|-------|---|
| 1963年 | 富士宮工場創立                                 |
| 1975年 | 富士宮市公害防止協定締結                            |
| 1996年 | ISO14001 認証取得                           |
| 2001年 | ゼロエミッション達成                              |
| 2007年 | PRTR 大賞優秀賞受賞                            |
| 2011年 | 産業廃棄物適正処理推進<br>功労者知事褒章受賞                |
| 2014年 | 3R 推進協議会会長賞受賞<br>緑化優良工場等関東経済<br>産業局長賞受賞 |

## 環境負荷概要

| 主要原材料                         | 主要製品  |
|-------------------------------|---|
| パルプ、PET、ポリエチレン、ゼラチンなど 50,027t | X-レイフィルム、印画紙用支持体など 38,791t                          |
| エネルギー                         | 環境成績  |
| 重油・灯油 39,540 kL               | 大気排出 VOC125t、CO <sub>2</sub> 159,634t、SOx9t、NOx188t |
| 購入電力量 1,911 MWh               | 排水量 13,081 千 m <sup>3</sup>                         |
| 天然ガス 39,943 千 Nm <sup>3</sup> | 排水水質 BOD 13t、COD 35t、SS 9.3t、総リン量 1.2t              |
| 水 13,100 千 m <sup>3</sup>     | 一般廃棄物 47t、産業廃棄物 1,876t、有価物率 72%                     |

## 環境保全活動の概要

|          |  |
|----------|--|
| 大気       | 各項目とも法令及び富士宮市との公害防止協定の規制値以下でした。                      |
| 排水       | 法規制及び公害防止協定より厳しい工場管理基準値を設け、各項目とも基準値以下でした。            |
| ゼロエミッション | 単純焼却・埋立ゼロの「ゼロエミッション」を継続しました(2001年以降継続中)。             |
| 環境モニタリング | 定期的な地下水モニタリングにより、土壌や地下水の水質に問題ないことを確認しました。            |
| PCBの適正管理 | 低濃度 PCB を含む浚渫物 10,394m <sup>3</sup> の適正処理計画を進めております。 |
| クレーム     | 騒音の対策と監視強化を行い、2016年度クレームはゼロ件を達成しました。                 |

## 【特集-1】抗菌液(商品名「HydroAg+」)の生産開始

富士宮工場では、2017年1月よりアルコール除菌液に銀系抗菌剤を付与し、新しい固定化技術を導入することで、業界で初めて「持続性」の高い医療用・民生用の抗菌液の生産を開始しました。

使用直後の除菌性能が高いことに加え、抗菌性能が24時間以上持続します。黄色ブドウ球菌、大腸菌、真菌(カビ)、インフルエンザウイルスなどの増殖を抑え、更に雑菌繁殖を抑制することで、臭い防止効果もあります。

目には見えませんが、私たちの身の周りは雑菌だらけです。家具、カーテン、衣類や靴など、普段のお掃除に使用することで、除菌、雑菌の繁殖防止や臭い防止の3つの効果が期待できます。また、主成分としてエタノールを使用しており、一方で環境や人体への影響が大きい化学物質を添加していないため、安心してご使用いただけます。

地球規模での環境変化や、大勢の人々が国境を越えて移動することに伴い、感染症の広がり方も変化しています。この商品は、インフルエンザなどの予防や拡大防止に役立つ商品であり、皆様のヘルスケアの一助になると考えています。これからも、環境の変化をしっかりと掴み、社会に貢献できる商品を提供し続けられるよう努めて参ります。

Ag<sup>+</sup>のチカラで 持続除菌  
菌やウイルスから  
家族を守る  
毎日の「シュッ」で、24時間ずっとキレイが続く。



## 【特集-2】構内清水川と「癒しの小径」

富士宮工場敷地内には、公共河川の清水川が流れています。この清水川周辺の緑豊かな環境を保全し活用するため、さまざまな活動を行っています。

多くの草木に覆われた川の両岸は、鳥やホタルの住処ともなっており、この自然豊かな環境に触れる事ができるよう、2006年に遊歩道を設置しました。この遊歩道は、従業員による利用だけでなく工場を訪れた見学者にもご紹介、自然豊かな当工場のシンボルにもなっており、2016年に「癒しの小径」と名付けました。

毎年6月の環境月間に実施する地域の皆様との清掃活動は、18年間以上続けており、2016年度は160人という多くの参加者で実施しました。清掃後には、清水川の池(憩いの池)の畔で参加者が一緒に食事をとり、活発な意見交換会を行いました。頂いた貴重なご意見を、工場の環境保全活動の参考にさせて頂いています。

当工場では、これからも構内の自然の保全にも力を入れて、活動を継続して参ります。



## 環境保全活動

### 1) 廃棄物削減と3R\*推進

生産安定化や徹底した分別回収により有価物化を推進し、継続して廃棄物発生量の削減に取り組んでいます。2016年は原油価格下落に伴う再生PET市場軟化の影響により、有価物化率は72%でした。

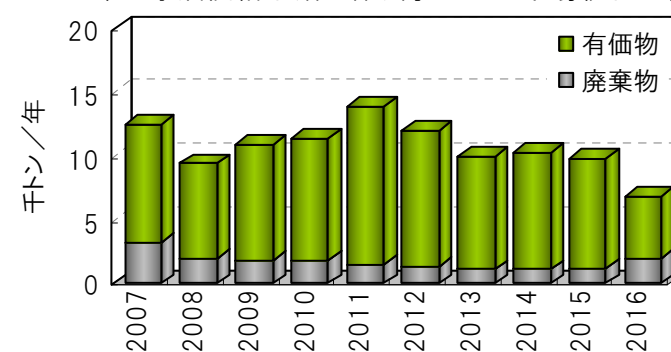


図1 有価物と廃棄物の推移

\*3R:リデュース・リユース・リサイクル

生産安定化や徹底した分別回収により有価物化を推進し、継続して廃棄物発生量の削減に取り組んでいます。2016年は原油価格下落に伴う再生PET市場軟化の影響により、有価物化率は72%でした。

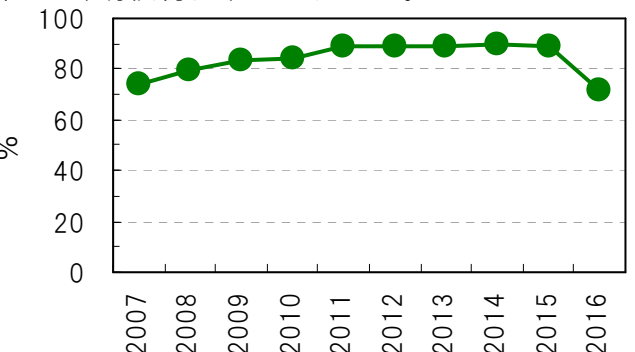


図2 有価物の割合の推移



## 2)水質汚濁防止

河川放流水の水質は富士宮市との公害防止協定範囲内であることを維持しています。また、敷地内の地下水でもすべての物質が環境基準値内を維持しています。

| 分析項目            | 単位   | 法令<br>規制値        | 静岡県<br>条例値     | 公害防止<br>協定値 | 工場<br>管理値 | 実績<br>〔2015年〕 | 実績<br>〔2016年〕 |
|-----------------|------|------------------|----------------|-------------|-----------|---------------|---------------|
| pH(水素イオン濃度)     | -    | 5.8~8.6          | 5.8~8.6        | 6.4~8.3     | 6.4~8.3   | 6.8~7.9       | 6.9~7.7       |
| BOD(生物化学的酸素要求量) | mg/l | 最大 160<br>平均 120 | 30<br>20       | 9<br>6      | 9<br>6    | 2.1<br>1.1    | 2.2<br>1.0    |
| COD(化学的酸素要求量)   | mg/l | -                | 最大 30<br>平均 20 | 16<br>8     | 13<br>8   | 5.7<br>3.2    | 5.9<br>2.7    |
| 浮遊物質(SS)        | mg/l | 最大 200<br>平均 150 | 40<br>20       | 20<br>12    | 5<br>3    | 2.5<br>0.8    | 1.6<br>0.7    |
| フェノール類          | mg/l | 5                | -              | -           | -         | <0.5          | <0.5          |
| 大腸菌群数           | 個/ml | 3,000            | -              | -           | -         | 0             | 0             |
| 窒素含有量           | mg/l | -                | -              | -           | -         | 1.6           | 1.8           |
| リン含有量           | mg/l | -                | -              | -           | -         | 0.1           | 0.1           |

## 3)大気汚染防止

2016年度は工場の稼働状況に合わせて、小型ボイラーの導入など動熱設備の効率改善を図り、エネルギー効率を9%改善しました。この結果、補助燃料の増で、SOx発生量は前年比で増加しましたが、NOx発生量は前年同等に抑制することができています。(SOx、NOxとも富士宮市公害防止協定値を下回る排出量です。)

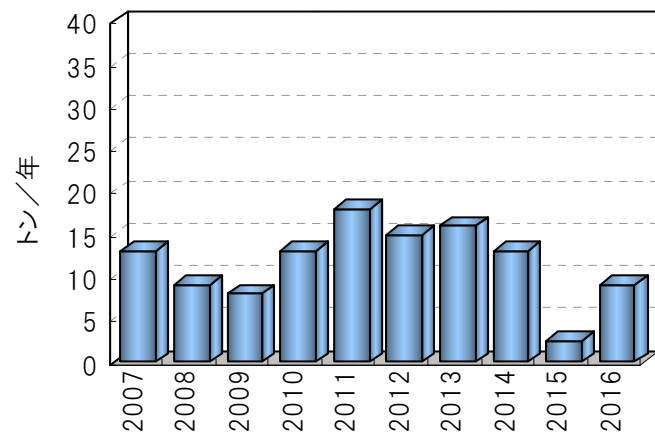


図3 SOx 排出量の推移

※2015年から検出下限界未満はゼロとした

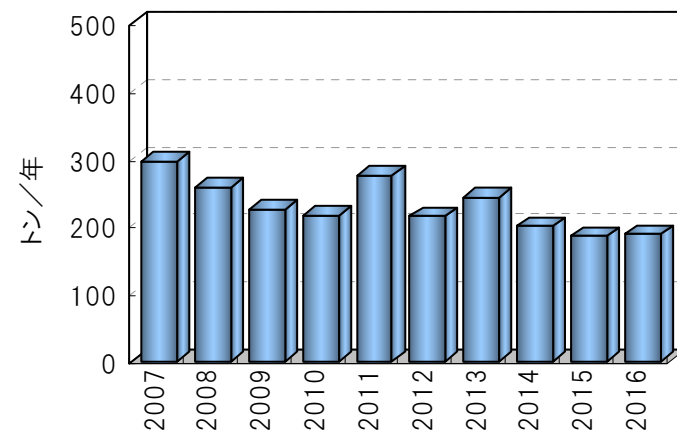


図4 NOx 排出量の推移

## 4)化学物質の適正管理 ~PRTR対象物質・自主管理対象物質の管理状況~

PRTR法(化学物質排出把握管理促進法)に基づき、人の健康や生態系に影響を与えるおそれがあり、且つ環境中への排出量や移動量が年間1トン以上の化学物質について、行政へ報告しました。

自主管理対象物質も含めた総排出量(大気排出と水域排出)、総移動量(廃棄物)はともに継続して減少しました。土壌への排出は継続してありませんでした。

それ以外の原材料や研究・検査・工程管理用の化学物質についても、労働安全・環境保全・製品安全及び廃棄物管理などの総合的観点からリスクを評価、管理基準を設定のうえ使用するシステムを構築して管理・運用しています。

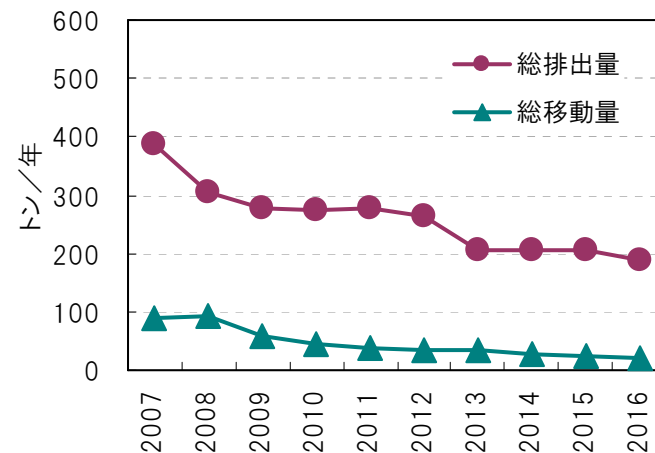


図4 PRTRの推移

## 労働安全衛生

**危険を感じて自分を守り、危険を伝えて仲間を守ろう!**

### 1)労働災害ゼロへの取り組み

「一人ひとりの安全意識の向上」、「決め事・ルールを守り守らせる」を重点とした安全行動・安全活動の継続推進、労働災害や重大ヒヤリの横展開による類似災害防止、および化学物質リスクアセスメント(CRA)導入を実施しました。

### 2)交通加害事故ゼロへの取り組み

通勤途上の加害事故ゼロを目指し、富士宮警察署合同による工場周辺の交通安全立哨、交通事故動画の配信による意識向上、類似交通事故防止等の施策を実施しました。

### 3)心身の健康づくりと職場環境向上の推進

長時間労働がもたらす健康障害の防止、メンタルヘルス予防と早期発見・早期対処、健康増進の支援、及び禁煙の推進等を実施しました。

### 4)防災対策の推進

熊本地震で被災した富士フィルム九州(株)担当者を招き、被災状況や災害対策の活動など説明頂き、工場の今後について考える『熊本地震の振り返りを共有する会』を開催しました。また、新人者を中心に危険物消火や、消火器・消火栓取扱いの訓練を定期で実施しています。

### 5)安全教育・講習会・講演会の実施

安全環境大会と防爆講演会(参加者約240名)、富士山防災講演会(参加者約200名)、交通安全体験車疑似体験(参加者106名)、危険予知トレーニング、工具取り扱い教育等により、安全意識や技能レベルの向上を図りました。

### 6)ワーク・スタイル・イノベーション(WSI)活動による働き方の変革

WSIセミナーや社内広報による啓発活動、定時退社日やプレミアムフライデーの導入と実施の徹底、業務効率化の取り組み等を通じて、働き方の変革を推進しました。



熊本地震の振り返りを共有する会



交通安全立哨



火災防災訓練

## 社会とのコミュニケーション

### 1)工場周辺の清掃(2016年6月1日、参加者約500名)

工場周辺道路や潤井川周辺などの清掃活動を行いました。その他、6月の環境月間に、環境保全意識の高揚のため構内放送によるPRを行い、環境異常発生時の対応訓練、環境関係機器の点検、廃棄物置場の点検と清掃などを実施しました。

### 2)清水川清掃(2016年6月4日、参加者約160名)

従業員と地元大中里地区の方々が力を合わせて構内河川「清水川」の清掃を行い、その後憩いの池の畔で昼食をともにしながら交流しました。

### 3)夏祭り(2016年7月29日、参加者約2,000名)

フィルムパークグラウンドで、従業員とその家族のほか、近隣住民の方々にも参加いただき、バンド演奏、模擬店や花火などで盛り上がりました。

### 4)富士宮市環境フェア(2016年10月15-16日、来訪者約250名)

富士宮市主催の環境フェアに参加して、工場で使用した水の浄化処理や工場の緑化状況について、現物や写真を使った展示を行い、環境保全活動を紹介しました。

### 5)大中里地区環境対話集会(2017年3月4日、参加者41名)

大中里地区との共催による環境対話集会を工場内で開催し、環境保全活動を紹介するとともに、地域の皆さまの声を傾けコミュニケーションしました。また当日は、地元中学生と教職員合わせて19名が参加されたこともあり、分かりやすく説明することに努め、評価をいただきました。

### 6)工場見学受入(通年、来訪者101名)

企業や学校など、2016年も大勢の方々に来訪され、環境保全活動の説明、環境・エネルギー関連施設の案内などを行いました。



清水川清掃



富士宮市環境フェア



大中里地区環境対話集会

このレポートに関するご意見・お問い合わせは下記までお願いいたします。

富士フィルム株式会社 富士宮工場 事務部 環境保全課 TEL:(0544)26-7175 FAX:(0544)26-7176

発行:2017年10月 制作:富士フィルム株式会社 富士宮工場